第6回作文コンシール ののあれるのでは、 入賞作品集



主催 公益社団法人 福岡県医師会

共 催 福岡県、福岡県教育委員会、西日本新聞社

後 援 九州厚生局、福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、大牟田市、行橋市、福岡市教育委員会 北九州市教育委員会、読売新聞社、産経新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社(順不同)

国 次

募集要項	選考委員	小学生の部 優 秀 賞	小学生の部 優 秀 賞	小学生の部 最優秀賞	中高生の部 優秀賞	中高生の部 優秀賞	中高生の部 優秀賞	中高生の部 最優秀賞	一般の部 優 秀 賞	一般の部 優秀賞	一般の部 優秀賞	一般の部 最優秀賞	入賞作品紹介	表彰式の様子	表彰式	1年表しいて
			舎利倉 ことほ	清武 琳	副島 美結	北田 晃太郎	作田 光汰朗	喜久田 碧	森 真理子	笹渕 恵美	F • M	原田 杏美				
24	22	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん				4
24	23	22	21	20	18	16	14	12	10	8	6	4		3	2	

主催者あいさ



峻一良 松田

だくことが、県民の方々と医療従事者との絆をより深め、 今回で六回目を迎えました。医療に対する思いを表現し、伝えていた という医療の原点にスポットをあて、その体験記を募集するものであり、 Ó 福岡県医師会作文コンクール「心のふれあい大賞 医療体験」は、 医療従事者と患者、そのご家族との「信頼関係 わたしのまわ 福岡県の医

療をよりよいものにしていく一歩になると考えております。

になりました。 係者の中で生まれる人の心のふれあいを改めて感じ、心温まる気持ち 感じたこと、ご自身やご家族と向き合ったこと、その中で変わっていっ となること、医療だけでは得られない患者さんとそのご家族と医療関 たこと、周囲への感謝の気持ちと病気に負けない前向きな思いが伝わっ てくる素晴らしい内容でした。また人と人とのつながりが生きる活力 今回入賞した作品はいずれも患者さん、そのご家族が病気になって

表彰させていただきました。受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げま 中高生の部・小学生の部から最優秀賞、優秀賞の合計十一名の方々を、 療関係者にとっても大きな励みと気概に繋がることになります。 今年度は、二八二点ものご応募をいただき、選考の結果、一般の部. また、このような実際の体験に基づく貴重な声に接することが、

医

高覧いただけますと幸いです。 本冊子では、 受賞者の方の作品を紹介させていただきますので、 賜りました関係者の方々にも厚く御礼申し上げます。

すとともに、

本コンクールにご応募いただきました方々、またご支援

表彰式



福岡市・JR九州ホール JR博多シティ9F) (令和2年1月25日 (土)

原	<u></u>
田	般の
杏	部
美	最優
さん	秀賞

_	北
般	
の部	田
部	晃
優	70
莠	太
秀賞	郎
	ΝÞ
	さ
	7
	κ

笹渕 恵美 さん

●小学生の部 優秀賞

舎利倉 ことほ さん

●小学生の部 優秀賞 畠山 真理子 さん

●中高生の部 優秀賞 ●中高生の部 優秀賞 作田 光汰朗 さん

> ●福岡県医師会会長 松田 峻一良

三列目

●一般の部 優秀賞

森 真理子 さん

F・M さん 下・M さん

喜久田 碧 さん

清武 琳 さん

●中高生の部 最優秀賞 ●小学生の部 最優秀賞 列目

●中高生の部 優秀賞 副島 美結 さん

表彰式の様子

(令和2年1月25日(土) 福岡市・JR九州ホール JR博多シティ9F)





一般の部・最優秀賞 原田 杏美 さん



一般の部・優秀賞 F・M さん



一般の部・優秀賞 笹渕 恵美 さん



一般の部・優秀賞 森 真理子 さん



中高生の部・最優秀賞 喜久田 碧 さん



中高生の部・優秀賞作田 光汰朗 さん



中高生の部・優秀賞 北田 晃太郎 さん



中高生の部・優秀賞 副島 美結 さん



小学生の部・最優秀賞 清武 琳 さん



小学生の部・優秀賞 舎利倉 ことほ さん



小学生の部・優秀賞 畠山 真理子 さん

最 憂

般の部

みやこ町 原田 杏美

「ありがとう」

が強くなります。 と言う事に感謝しなければ、との想い は自分が毎日を当たり前に過ごせてる 毎年、三月十一日が近くなると、私

始まり中学進学も目前の頃、 私は十二才でした。 小児ガン 三学期も

> りました。 の告知を受け、 緊急に入院する事にな

その時の事は殆ど覚えてはいません。 じましたが、具合が悪かったせいか、 さに病気の深刻さを思い、不安には感 **K病院でした。その病院の規模の大き** 地元の総合病院から搬送されたのは、

当たり散らす様になっていました。 般の辛さは感じずにいたのですが、髪 をしました。手術後は、容態が落ち着 なり母や周りの医療スタッフの方々に が抜け始めた頃には、だんだんと辛く ろう止まらない食欲とであまり治療全 手術後の痛みと、たぶん薬の影響であ 放射線治療を始めました。最初の内は、 いて来たのを待って抗ガン剤の投与と やがて、治療後には輸血が必要にな 入院後は先ず、頭の腫瘍の摘出手術

りました。 した、その血液パックにドキドキしな でした。看護師さんが点滴台にセット 三月の上旬、その日は初めての輸血

> がらも目をやると、そこには「岩手県」 と書かれたシールが貼ってありました。

地の人の善意がこんな所まで届いて 話をした気がします。 るっちゅう事やね」と、母とそんな会 も来るんやねぇ」「そうやね、遠い土 献血っち岩手とか、そんな所から

た。 が不足しているとの報道を耳にしまし た。そんな中沢山の負傷者の為の輸血 とは思えず、信じ難いものばかりでし 有の東日本大震災が起こったのでした。 テレビに流れる映像は、どれも現実 そして、その僅か二日後、 あの未曾

た。 だろう、大変な目に遭っているかも知 かも知れない、とも考えてしまいまし れない。もしかしたら命を落としてる 私に血をくれた人は、どうなったん

憔悴させて行きました。 その気持ちは、無意識のうちに私を

地震後からのパックには当たり前か

ていました。 の様に九州圏内の県名のシー ル が 貼 つ

かけて下さいました。 級の先生は、あらゆる励ましの言葉を 失った私に病院の看護師さんや院内学 居て欲しいね」と願ってくれた人もい らずの方の安否を私と一緒に 自分達とは関わりなど無い、 それを見るにつれ、 すっかり元気を 「無事で 見ず知

の闘病生活を送りました。 私は、 その後も治療を続け、 約 年 ました。

フー 以上気持ちの さったそうです。K病院へ来る前、 やっとこの時、 て行きましょう」と笑顔で言って下 元の生活に戻れる様に、 療を開始する際に「娘さんには、スタッ して下さった小児科の先生方が内科治 病院で病名を聞かされ、 そんな入院生活の中では、 同全力を尽くさせていただきます。 張 涙を流す事が出来たそ ŋ 詰 め 7 一緒に頑張っ V ほぼ一ヵ月 た 母 私を担当 は 前

うです。

で連れて行ってくれたりもしていまし で来たよ」とわざわざストレッチャー だ時には、「おまたせ、 てくれたり、 れていました。 んなに忙しくても常に笑顔で接してく 時には、点滴の袋に可愛い絵を書 入院中、 病棟の看護師さん達は、 放射線室へ行くのを拒 タクシー呼ん خلح 6 V

そんな日々を送り無事退院後、 八年

が経ちました。

た。

5 を送る事が出来たからだと思っていま の時期に常に前向きに笑顔で入院生活 いる今の私があるの ますが、それでも毎日の生活を送れて お母さんにも成る事が出来ました。 今、 確かに、 叶わないかも知れないと思っていた、 多少の不自由さを感じる事も有り 私は元気です。 何も無く健康な人に比べた は、 あの辛い治療

> 達、 ずに頑張って生きて行こうと思います。 これからもずっと感謝の気持ちを忘れ のスタッフの皆さんは勿論、 現在、 あ 私を支えて下さった全ての方に、 0 頃、 関わって下さった、 家族や友 K 病院

出来るだろうね、と献血をしてくれて 父は、 年齢ぎりぎりまで、あと何回

袋の主である方が今もどこかで元気に 暮して居ます様にと今でも、ふっと考 やって来た、一袋の血液パッ えます。 元気に走り回っています。 そして、あの日、 はるばる九州 ク。 あの きって

病院でボランティアを始めました。 今年、一才になった息子は、 母は、これは恩返しよ、 今日 と K

います。

す。

憂 一般の部 秀賞

りましょう。」

「えっ?!」

これは、私が、

ほ

んの軽い気持ちで

八女市 • M

信頼関係は 魔法の薬

家族構成は?」

さん達のためにもお互いに全力で頑張 子どもが幼い頃に亡くなりました…。」 「そうですか…。大変でしたね。子供 「高校生の息子が二人います。 夫は

> 診を予約したのです。 子宮がん検診当日、まずは、エコー

ぞーという軽い気持ちで、子宮がん検 ポイントを集めて金券をゲットする 健康面に自信があった私は、ただただ いう有り難い取り組みが始まりました。 めると、ポイント数が金券に変わると らえ、それを一五○○ポイント以上貯 様々な健診を受ける度にポイントがも 主治医の会話です。私の住む町では 健診を受けに行った次の日にした私と

年前に別の病院で子宮筋腫があると言 われていたので、 く調べることになりました。実は、数 認できなかったためMRI検査で詳 子宮筋腫が大きすぎて、エコーでは確 でお腹の中を見られました。すると、 そんなに心配はして

ところが、健診日の次の日、医師か

ず、

壊死し、色が変わっている部分が

なるスピードが速すぎること、

腫瘤が

あまりにも巨大化していて血液が流れ

V

ませんでした。

早くした方が良いって?一か月や半年 肉腫って何?癌のこと?手術を一日も 頭の中は真っ白になりました。「えっ? られ、 に乗って転移していくタイプの癌?」 可能性もある?もしも癌の場合、 と告げられたのです。予想外のことで も早く治療をした方がいいでしょう。」 をして、この正体を明らかにし、 ている可能性もあるので、早急に手術 があります。 ら言われた言葉は、「子宮肉腫 も手術を延ばさない方がいい?転移の 悪性の疑いがあります。 また、 卵巣にも腫瘍が見 転移し の疑 血液

体的な内容は、 懇切丁寧に説明して下さいました。具 絵を書いたり、 その理由を、 等、次々と驚くことを言われました。 と診断されてから今日までに、大きく 無知の私に分かるように、 医学書を見せたりして 以前、子宮筋腫が七

着き、 うになりました。 下さいました。 聞きに来ていいからね。」とも言って とや心配なことがあったら、 下さいました。 あること等、一 誠意の言葉に、 かりませんでしたが、 前向きに考えることができるよ 最初は現実か悪夢か分 私の心もだんだん落ち つ一つ丁寧に説明して また、 ドクターの誠心 「分からないこ いつでも

たが、 ŋ に立ち会った医師から、 全摘出でした。 生を信じても大丈夫だと確信しました。 ピニオンにという周りの声もありまし と説明して下さいました。 お忙しい中嫌な顔一つ見せず、 対しても、 いう前提の手術でしたので、 除 手術は、 直接、 尿管にも巻き付いていたので、 くのに大変だったようです。 受診を重ねるうち、 説明を聞きたいという両親に 心配している妹に対しても、 五時間を超えました。 腫瘍が一 四〇〇gもあ 「主治医は 私はこの先 セカンドオ 子宮卵巣 きちん 癌と 手術 取

後遺症等が残らないように、尿管に巻き付いていたつるのような腫瘍を、苦労しながら尿管等も傷つけないように労しながら尿管等も傷つけないように

少癌ホットラインという相談窓口 果を尋ねていたある日、「 相 ることを知りました。 なります。そんなある日、 良性か運命の分かれ道、 ね。」と言われました。 てはいけないから、もう少し待って なるやろうけど、無責任に予想で言 すぐに、「いやいや、 は多分…。」と言いかけられましたが、 われました。先生にも何度も病理の結 の検査結果がなかなか出ず、 気になっていきました。 談をしました。 つ丁寧に教えてくれました。分から 手術後の経過は、 この 良好で日に日に元 検査結果が気に 電話して、 窓口でも、 でも、 やっぱ しかし、 「病理の: ネットで希 不安に襲 はり気に 悪性 結果 色 [があ 病理 <u>ー</u>つ か つ

> り、 寄り添ってくれるドクターとご縁が ر ر ه 関係ができていますね。ここに電話し 医の言葉を耳にした私たちは、 本当に良かったですね。」という主治 おっしゃっていました。 てくる患者さんは、 と同じでした。 えてくれました。 ら一カ月後、 あってもなかなかドクターには言えな われたのは、「主治医としっかり信 ないことがあれば、 結果から言いますね。良性でしたよ。 子宮肉腫かもしれないと言われてか 本当に幸運だったなと思いました。 という相談が多いんですよ。」と やっと結果が出ました。 でも、 ほぼ、 きちんと調べて答 聞きたいことが その電話口 私はきちんと 主治医 四の見解 で言 あ

謝致します。
無事を祈る家族や友人たちに心から感中をさすって下さった看護師さんたち、中をさすって下さった看護師さんたち、

で涙を流して喜びました。

般の部



北九州市 笹渕 恵美

族は一 間で四回も手術室に入り、ましてお腹 さかこれから待ち受ける試練が、 心配をする位だったので、 余裕もあり、干しっぱなしの洗濯物の きりとした理由も分からなかった私。 「今日は自宅へは帰れませんよ。ご家 緒?」と聞かれ、「えっ」まだはっ あの時はま 半年

> も三回 した。 ぽっちも考えつくはずもありませんで [切る事になるなんて、これ つ

まったのでした。 はじめ沢山の看護師さんとの生活も始 るスタートに立つと同時に、主治医を 生最大級の出来事が目まぐるしく始ま 手術と安静が必要になり即入院。 いるという衝撃的な内容で、処置の為 た赤ちゃんが、外に落ちかかってきて やっと治療を実らせて大きくなってき 二回目の定期健診で診察室にいました。 イリスク妊婦を扱う総合病院へ転院し その瞬間から車いす移動となり、 当時私は、 二年間の不妊治療後でハ

り。 活。 後に後悔してもしきれない事態にみま 静に過ごす予定だったのですが、 も悪い事ばかりではないね」と、 なった同室の人たちとの合宿の様な生 安静は続く中でも年齢が近く仲良く 手術後流産の危機は何とか乗り越え、 先生も同世代の女医さんで「入院 出産まで後三ヶ月。 予定日まで安 ニコ 数日

を抱き、

これからの責任と覚悟を決め

なくてはいけない事を強く覚えました。

われました。

翌朝、 先はパニックになり、ナースコール 初めて「お母さん」という言葉に重み 強く持って。」と肩をポンと叩かれた時、 赤ちゃんを守るからお母さんも気持ち がある赤ちゃん、でも私たちは全力で ない。まだとても小さく様々なリスク んが」とさらに泣き続けて処置が終わ れた先生に「先生どうしよう、赤ちゃ えが止まらず、混乱し続ける私に必死 連続で押し続け処置室へ。涙と体の震 布団を慌ててめくり辺り一面濡れてい 違和感で目覚めると、 水が起きるともう出産しなくちゃい る頃には夜が明けようとしていました。 ん。夜中にもかかわらず駆けつけてく に手を握り話しかけてくれる看護師さ る光景に「破水だ」と確信。それから その日は、 早めに眠りにつきつつも、深夜に 少し落ち着いた私に先生が 何とも言えない疲れもあ シーツに湿り気 破破 け を

出来れ ね。 とれ は届 王切開で出産。手術室で小さくて聞き てしまいました。 隣で顔を見せてもらった時「ごめん すぐに呼吸器を着けられ一瞬だけ私の ない程の産声を、 かず夕方には陣痛が激しくなり帝 としか言えずに私は麻酔で眠っ ばもう少しお腹に。 一度耳にした後 とい . う 頗

り、 まった絶望感で面会にも行けず、 上の苦しみを子供に背負わせる事にな に書かれていて、 る数多くの障害、 で泣く事しか出来ずにいました。 翌日説明された内容には、 取り返しのきかない 私は改めて考えた以 合併症が枠いっぱい 事になってし 考えられ 病室

懸命に生きている。 この先私の心の支えとなった大きな言 護師さんの言葉は、 中をさすりながら語りかけてくれた看 で生まれた子は強いよ」と隣で私の背 わが子に面会。 いの小さな体でも、 二日後、 薄暗い部 掌に乗ってしまうくら 今でも鮮明に蘇り 触ると温かく一生 屋 「不思議と七ヶ月 一の保育器で眠る

葉でした。

頑

影が襲ってきました。 退院でき、 となりました。 る暇もなく三回目の手術室で開腹手術 様な展開で、 ジェットコースターに乗っているかの てくれました。 先生は時間を作って下さり診療を行 い体の異変を産科の先生に相談すると、 まると思った頃、 その言葉通り時間 いよいよ自宅での育児が 悩んでいる暇も泣いて そこからはまるで 次は私の体に病 はかかりましたが 育児疲れではな 魔 始 V つ 0

告知。 してくれる先生に強く誓いました。 せん。」涙をグッとこらえて、 とお母さんになれたんだもん、 されていたので「大丈夫です。 やっぱり悪性だった。」と小さな声 がいっぱいになっていて、「ごめんね。 報告に来てくれた時、 先生が摘出された臓器の 私は事前に悪性の可能性も聞 先生の目には涙 病理結果 私、 涙を流 負けま や で を か つ

出 を行う手術を受ける事になりました。 悪性だった為、 す ぐに周辺臓 器の 摘

> 室 代で補助してくれたり、 以上の苦痛や合併症に挫けそうな時 室へ。 に過ごせています。 さっている様で、心身共に沢山助けて 恋バナで笑ったり。 かった気分を変えてくれようと先生と 産科でお世話になった助産師さんが交 来ずに石の様にカチカチになった胸 ありました。 いただいたおかげで、 当日 張りましょう」と握手を交わし手術 に入った私を、 その後は科学療法も行い、 の 朝、 術後、 先生と「 チームで支えて下 まるでピット 搾乳がICUで出 共に戦う同 私達は今を元気 眠れずに心 想像 士。 (病 を 細

感謝の気持ちを忘れずに。 越えた勲章だと思って頑 しずつ長くなりましたが、 お 腹 そして、 三度の手術で、 0 キズと共に。 すべての方にありがとうと お腹のキズは縦に少 張ります。 これからも、 試練を乗

入賞作品

優 般の部

秀賞



大牟田市 真理子

湧き出る力

た。 罹るという病で、入院・手術をしまし 国民の二人に一人が

私は、この夏、

為 ホクロが大きく、 事の発端は、以前から有った乳頭の か :かりつけの皮膚科を受診したこ 見た目に汚くなった

とです。

問い掛けに驚きながら 男性医師で、 と、尋ねられました。思いもかけない 癌検診を受けたことはありますか。」 来ました。ひと目診て、先生は、「乳 か恥ずかしさも消え胸を出すことが出 すよ」とニッコリされた笑顔に、何故 りましたが、看護師さんの「大丈夫で その日は、 診てもらうのに抵抗があ 大学から派遣された若い

いいえ。」

いでいたのです。 気になりながらも受けることが出来な 的に耐えられない状態になると思い、 癌検診でもし癌が見つかったら、精神 と、答えました。私はすごく臆病者で、

てから始めましょう。」 さい。私の治療は、その結果が分かっ 「まず一度、早急に乳癌検診をして下

「はい。」

を感じさせない声に、 「はい。」 穏やかに話される先生の、全く不安 私は動揺もせず、

> と、答えていました。側に付き添って い病院を紹介して下さり、私は迷うこ いらした看護師さんが、すぐに望まし

となく翌日その病院の乳腺外科を受診

しました。

すぐに多くの検査をオーダーして下さ く落ち着いた雰囲気を持っていらして、 くなりました。先生は若いのに、すご 師。しかし予想外に女医さんで、嬉し いました。 これ又、若い大学から派遣された医

調べてみましょうね。」 さったから、この際丁寧に色々詳しく 「せっかく皮膚科の先生が紹介して下

れました。 に脅えるはずの私を、優しく包んでく と、おっしゃる言葉は、本来なら検査

説明の時も、 と、先生から勇気をもらって、シャキッ と検査に向かいました。数日後の結果

「残念ながら癌でした。」

●一般の部 優秀賞 — 「湧き出る力」

先生の今までの患者さんから聞かれた 手術の説明も、どれがどの位痛いか等、 生の声が、 Ł, ことが出来ました。 心のエネルギー配分の準備をしておく どこでどの位の覚悟をすればい 話を交えながら話して下さり、 ネルギーがあったのかと驚きました。 てくれ、 淡々と今後の予定を説明される先 自分の中に、こんなに闘うエ 私に更なるファイトを与え 私は、 V かの

入院中も、先生は一日四回は必ず顔 を見せて下さり、さりげなく私の心身 の回復の手助けをして下さいました。 の回復の手助けをして下さいました。

間、患者さんから何度も感謝されたこ充分な説明と、ほど良い世間話で、私の心身を見守って下さいました。その以上患者さんに接してきました。その以上患者さんに接してきました。私

説明の分かり易さと、声の明るさでしとがあり、その理由は、私の笑顔と、

た。

「あなたと会うと勇気がもらえます。」と、言って下さる患者さんの言葉が、を与えているのか解りませんでした。しかし、今回、自分が患者の立場になり、多くの医療スタッフに支えられてり、多くの医療スタッフに支えられて

ることが出来ました。 ネ 声 とのコミュニケーションです。 や耳や肌から入ってくる情報、 心を支えてくれるのは、 ルギーになることを、 の温もりが、 もちろん、 技術は必要です。 予想以上の癒やしとエ それ以上に目 今更ながら知 表情、 しかし、 人と人

思っています。 程験を大切に世の中に役立てたいと 経験を大切に世の中に役立てたいと

中高生の部 最

の何気ない言葉でした。

六の秋頃、食卓を囲んでいるときの父 ません。この病気を予感づけたのは

小

北九州市・高校2年 喜久田

在宅医療

病気を患って生きていかなければいけ で山登りが好きな父でしたが、私が中 いく難病で治療薬がないため一 いました。 のときにALSの診断を受けてしま 私の父は教師をしていました。 ALSは運動神経が壊れて 生この 健康

できなくなってしまいました。 ことができないため会話をすることが した。人工呼吸器の装着で声を発する ができなくなり人工呼吸器を装着しま 筋が衰えはじめ自分で呼吸をすること べることはできません。 もちろん、自分の好きな物を口から食 な栄養分を摂取するようになりました。 なくなり胃瘻を装着してそこから必要 害で食べ物を口から食べることができ たくさんの変化がありました。嚥下障 不安でした。三ヶ月の入院生活の中で 自身はどう変わっていってしまうかと はどう変わっていってしまうのか、父 した。これから私たちの今までの生活 そこから病気が進んでいく父の姿を 最近、小指が動かしにくいんよね。」 その言葉の本当の意味を知りま その後、 呼吸

そんな日々の中、 母が在宅医療の決

> えが私の頭をよぎりましたが、在宅医 ごさない方が安全ではないかという考 時間を短くできなかったのか、家で過 が可能ではなかったのか、父が苦しむ り病院にいた方が対応を早くすること 車が停まっていました。慌てて家に向 塾のバスで帰ってきたら家の外に救急 な衝撃がありました。中三の塾帰り、 断をしました。 療を進めていくうちに落ち着いて安全 した。一命を取り留めましたが、やは かうと父がいつもと違う姿をしていま にはうまくいきませんでした。いろん れしかったです。でも、私の思うよう が家に帰ってくるというのがとてもう 最初は三ヶ月ぶりに父

くれます。 ます。 護師がいる間を利用し買い物に出 れてケアをしてくれます。母は訪問看 訪問時間を増やしてもらい行事に来て に暮らしていけるようになりました。 在宅医療中は訪問看護師が毎日来ら 私の学校で行事があるときは、 こうして訪問看護師を信頼 かけ

る薬剤師もいます。

寝たきりの父がこ

れ以上衰えないようにベッド上でのリ

*ا*ر

ビリもあります。そして、

父だけで

した。

方々には本当に感謝しかありません。

最初の不安は今となっては全くなく

も気にかけて下さり医療スタッフのなく介護をする母や私達の体調もいつ

呂場まで運ぶのは不可能なので、 対応をしてくれます。 看護師が連携をとり二十四時間体制で 父の症状が心配な時でも、 ました。月に二回の往診もあります。 可能なことを可能に変えることができ のではないかと思っていましたが、不 たら何もかもが不可能になってしまう に置いて入浴します。 立て式の浴槽を持ってきてベッドの横 父の入浴も可能になりました。 はとてもありがたいことです。 この病気になっ 薬を届けてくれ 担当医師と また、 父を風 組み

> 活動を続け、一生を終えるまで続けた 人のニュースがありました。その方は スティーブン・ホーキングさんです。 スティーブン・ホーキングさんです。

員になった人も最近話題になっていますいということです。これは、病気ではいということです。これは、病気ではない人に対しても言えることです。ない人に対しても言えることです。のということです。これは、病気ではない人に対しても言えることです。そ

う言ったそうです。着するかを母が父に言ったとき父はこないことがあります。人工呼吸器を装ないことがあります。人工呼吸器を装

- 俺はずっと生きていたい。

なり、

父の病状の大幅な変化もなく、

毎日落ち着いて過ごすことができてい

たい

して父のことを任せることができるの

ます。

私には姉がいて、私たち姉妹の成長をこれからも見ていきたいという気持をこれからも見ていきたいという気持ちがあったということを知ったとき、気持ちを持っているなと嬉しく思いました。変わってないことはもうひとつかったそうですが、家族の前ではよく笑顔を見せていました。それは今も変やっていません。学校から帰ってきて父にただいまというと笑顔で返してきてくれます。

在宅介護が始まり四年半が過ぎました。病気が進行しても父はとても強く病気と闘っています。これからも在宅医療のスタッフの方々の温かい介助をあれたち家族も一緒に父の

13

優秀賞

^{久留米市・高校1年} 作田 光汰朗

「私の夢と医療体験」

とだった。

入院しなければいけないと聞いて、 私の胸は曇った。なぜなら、高校入試 も中学校卒業も近づいており、勉強も も中学校卒業も近づいており、勉強も たのだ。更に、私は副生徒会長でもあっ たのだ。更に、私は副生徒会長でもあっ たのだ。更に、私は副生徒会長でもあっ たため、周りに迷惑をかけることにな ると、申し訳ない気分になった。いく ると、申し訳ない気分になった。 ことは避けたかったのだ。

晴らそうと一生懸命、私と向き合って なさい。」と言ってくれたし、担任の なさい。」と言ってくれたし、担任の 先生は「休むことも大事ですよ。きっ といい期間になります。」と励まして くれた。けれどもその中でも、病院の くれた。けれどもその中でも、っ くれた。けれどもその中でも、っ なさい。」と言ってくれたし、担任の 大生は「休むことも大事ですよ。きっ

るようになった。だからこそ、手術に

くれた。

その度に私は、 備、そして顔を合わせるたびの会話。 毎日の検査や回診、 保育士さんがいた。それだけでなく、 じゃない?」と冗談を言ってくれた。 言ったら、良い評価が付けられるん め、 どうしてもこの高校に入りたかったた 中で『私は先日虫垂炎になりましたが 向き合うことができ、 不安を確かに取り除いてくれたのだ。 病院で働いているすべての方々が僕の がいた。勉強する時間を作ってくれた を点けたままにしてくれた看護師さん と言って、消灯時に私の病室だけ電気 入院中、夜の病室で勉強をしていると、 ないことが不安だと話すと、「面接の 間近に控えているが、 勉強大変ね。夜だけど勉強頑張って。」 主治医の先生に、高校の推薦入試を 手術をしてまで来ました。』とか しっかり自分の病気と 食事やお風呂の準 その練習ができ 心に余裕を持て

とができたのだと思う。 も安心して臨めて、 無事に退院するこ

0

せいで何日も学校に行けていない

か

今まで、

私の将来の夢は

小児科医に

書を使って、 習会」に参加した。 虫垂炎での入院と病院の方々との心の その夢は今も変わっていない。 出会った小学四年生の男の子は、 ちが自分の勉強道具や病棟にある教科 ていて、 児科医になりたいと思うのだ。 態にしてあげられるような、 ような、子どもたちを本当に健康な状 く心の不安まで取り除くことができる 人としっかり向き合い、 のになった。私も、子どもたち一人一 ふれあいを通して、それは大変強いも さんの姿にとても憧れていた。 小さい頃、それを治してくれるお医者 からの夢である。 なることだった。これは、 私は入院中、 体調が比較的優れた子どもた 自習をするのだ。 週に三回ある朝の 病気ばかりしていた 小児病棟に入院し 病気だけでな 幼稚園 そんな小 そして そこで しかし 病気 の頃 学

> 違いない。しかしそれは、お医者さん それは、 校に行けていないことも気にも留めな だったのに、 だかとてもキラキラしていたのだ。 えになっていたと思う。 いうのは、 たちにとって病院で働く人たちの力と いったのだろう。それくらい、子ども 2 や看護師さん、保育士さんからの惜 はあの子だって不安で、 らの支えがあったからだと思う。 いくらい明るくいられたのか。 んなに大きい私でも不安でつぶれそう ていた。そんな子どもたちの目はなん 勉強を頑張らなきゃいけないとも言 できるからみんなより遅れないように、 話してくれた。 のない あの子の周りの医療従事者 温 精神面にとっても大きな支 かみによって、 小学生の男の子はなぜ学 けれど、 心配だったに もうすぐ退院 氷解して やはり 最初 2 つ

> > 続けていきたい。

薦入試を受けた。 私は手術後、 無事に第 盲腸 の話こそしな 志望校 の推

> も、 行事、 を忘れず、 とができた。そして今は、 うしてもこの高校に行きたいという思 えてくれた医療従事者の方々へ いが通じた結果だろうか、 ったが、 あの時肉体面でも、 部活動に励んでいる。これから 小児科医になるために、 自分の夢に向 精神 かって努力を 勉強や学校 合格するこ 面でも支 の感謝

中高生の部 憂

て大きな違いがあるのだと感じました。



行橋市・中学1年 北田 晃太郎

本当の医療って なんだろう

する事が全てなのでしょうか。 通院した事があります。 も受付けの人もその対応は病院によっ 医療」 ぼくは幼い頃からいくつかの病院に 病気になった部分だけを治療 医師も看護師

> そんな事あるはずがない。近眼になっ 笑い「何バカな事を言ってるんですか、 気になり医師に尋ねたのですが、母の になるんだから、 たんだからメガネをかければ見える様 話を最後まで聞かず「フン!」と鼻で が近視で遺伝的なものがあるのではと でした。医師も同じでした。母は自分 いる様に感じました。待っている間も も事務的でマニュアル通りに対応して ています。受け付けの人も看護師さん が何となく冷たい感じがした事を覚え 師さんも受け付けの人も大勢いました 所狭ましと並べられていました。 博士号取得」等の経歴が書かれた額が 大きく検査機械も多く、壁には「○○ に行った病院建て物は新しくきれいで で、眼科に行く事になりました。 度も声をかけられる事もありません 小学生の頃、 学校の視力検査の結果 それでいいんです。 最初 看護

> > 院に行く事はありませんでした。 師は「目」の事だけしか見てくれてな かったのです。もちろん二度とその もいやな気持ちになりました。その医 わったのがわかりました。ぼくもとて

同じ様に一人一人に合わせた対応をさ ぼくにだけではなく他の患者さんにも さり、リラックスさせてくれました。 緊張しない様に学校の話等を聞いて下 勢ではありません。ですが病院に入っ ば、機械は多少少なく、スタッフも大 て下さり いて下さり、 とは全く逆で、 れていました。 何度も声をかけて下さるし、看護師さ ます。受け付けの人も待っている間も た瞬間に暖かさを感じた事を覚えてい はと言う話にもしっかり最後まで聞 んもていねいに話しを聞いて下さり、 次に行った病院は前の病院に比べれ 母が心配していた遺伝で ぼくの話もじっくり聞 医師も前の病院の医師

「そう言う可能性もない訳ではありま

と言い放ったのです。母の顔色が変

せん。 考えてみましょう。 ら安心して治療してもらえる。 をかけて下さいました。 してみましょう。」と安心出来る言葉 くもそう感じました。 御心配でしたね。 治療法も色々と試 この先生にな 色々な原 母もぼ 図を

た理由 うか。 す。 ŋ れたのでは患者はたまったものではあ 機械を治す様に悪い を全く無視をして、 ん。 負担や心の不安は良くなってはいませ はないのかなあと思いました。 として下さっているのか、 はきっと一人の人間全てを見て治そう メガネをかければ 目 ´ません[°] いったい二つの病院何が違うのだろ けれどその事で体 一人一人全身症状も、 だけを治療しているかの t 同じ「医療機関」 生活環境も違います。 目 部分だけを治療さ マニュアル通りに の別の場所への は良くなりま なのに。 病気になっ 悪い部分 確かに 違 それ それ V で

ぼくの父も整骨院をして日々患者さ

生に話

を聞

いてもらって安心しました。

私

0)

状況を理解して下さるので嬉しい

す。 握し、 晃ちゃん顔見たら元気になった。 ちろん手伝っている母もスタッフの人 のではなく、 5 して治療できて助かる。」と声をか いる幼い子供の面倒を見たりしていま 出し入れをしたり、 ぼくも時々手伝いますが、スリッ も同じ様に患者さんに接しています。 治療を沢山している様に感じます。 てリラックスさせてあげたりと、 います。又、 の事までを把握し、 あと言う事です。 がら患者さんに治療をしているのだな ていね る んの治療をしています。 れます。父もよく患者さんから ぼくが感じるのは、 すると患者さんから「ありがとう、 相手の気持ちを理解してあげな いに聞 趣味や、 病気の事だけの事を話す 3 時にはその人の家庭 さまざまな状況を把 お母さんを待 アドバイスもして 一人一人の 学校の話等をし 間近で見て 心の 安心)۴ 話 って の 4 を

0)

ぼくは「心」の治療が出来る事が本当 理解してあげる事、これで半分以上は ず話を聞いてあげて、その人の状況を 去りにされない様にしてほしい。 でしょう。 技術はどんどん進歩して発展してい は治ったとは思わないのだと。 療しても心が病んだままでは患者さん 治っているんだよ。」どんなに体を治 だけでなく心も病んでいる。 です。」と言われている様 発展してくれれば な患者さんが して信頼して治療が受けられ な父がぼくに話してくれた事 「医療」だと思う。これから医 「治療に来る患者さんは けれど、人の「心」 求める いいなと思います。 「本当の です。 体 ずがあり だからま 医 が置 が 医 安心 悪 そん 療 療 V ま

中高生の部

憂

秀

小郡市・中学2年 副島 美結

> けど病気を持っています。 元気そうに見えても実際病気を抱えて いる方もいらっしゃいます。 私には六つ下の元気な弟がいます。

りでした。 のです。だからこそ大変だった事ばか とつで「九州でたった一人」の患者な 弟が患っている病気は「難病」のひ

るのです。 ことで、最悪の場合死に至ることもあ 場合、そのインスリンができすぎるた が低くなるということは、 め血糖が異常に低くなるのです。 定させるためにできます。しかし弟の 血糖というものが高くならないよう安 というものが出ます。インスリンとは 私たちはご飯を食べると「インスリン」 弟の病気を簡単に説明すると、 命に関 普段 血糖 いわる

私が見たときは、 に妙な動きが見受けられたそうです。 六ヶ月のときで、ミルクを飲ませた後 最初に症状が見られたのは生まれて 顔色が悪く意識も呼

す。

現段階ではそれが何かを証明でき

り入院をしています。

見た目ですぐ分

かるような病気の方もいらっしゃれば、

院に行くことがありました。大学病院

私は小さい頃からよく大きな大学病

今日も病気と闘っている人がいます。

難病と闘う弟」

なので症状は様々な方々が検査に来た

びかけても応答しないほどでした。 す。それほど小さな私にとって衝撃的 のことを今でもほぼ明確に覚えてい の頃は私も小さかったのですがその時

そのあとのことは、 お母さんに聞

だったのでしょう。

ました。

結果、 ために、 臓の中でも手術しやすい所、そうでな る臓器は そうです。その病気で、主に原因とな から色々な検査をして病名が分かった 院に行くことになったそうです。 直ぐに医者に見せると、その病院では となるようなものが見つかったそうで 対応できないので第一人者がいるK病 異常が見られなかったそうです。 い所があります。弟はそれを検査する しその待ち時間にまた症状が発症 病院に連れて行き検査をしても特に 場所的に手術しにくい所に原因 岐阜県に行きました。 「膵臓」だそうです。 その膵 検査 しか

できません。 る医療技術はないので特定することが

りで、 です。 針を刺してそこから機械で点滴を行っ 効いたのでこれを使っていくことに 会で発表されたそうです。 この結果は一つの事例として医者の学 なくても血糖が安定するようになった どん減っていき最終的には薬を利用し ていました。その薬は効いて量はどん なったそうです。そのため毎日、 薬を投与したそうです。 を利用して血糖を上げるという方法で て、 では効かなかったので、 していたそうです。初めに投与した薬 ていないのです。そのため医者は手探 その病気に効く特効薬がまだ開発され のです。これはとても凄いことです。 で、高くするための薬を投与したそう それから、 心臓の病気に使われる薬の副作用 しかし、難病と言うだけあり、 分かっている範囲のことで対応 血糖が低くなっているの その薬は弟に 第二手段とし 腕に

> た。 は不安定でもだんだん安定してきまし 機械で血糖値を調べていました。最初 それからは毎日血液を少しとって、

忘れてしまったり量を誤ってしまうと 最少の量から飲んでいて、定期的に検 \<u>'</u> 感じました。 に過ごしている弟が凄い事だと改めて んでした。でも知ったからこそ今元気 州で一人の患者だったなんて知りませ しい事を知りました。 ています。この作文を書くにあたり詳 い事としてスポーツ、 危ないので細心の注意を払っています。 査を行っています。この薬を飲むのを のです。その病気は「てんかん」と言 弟はもう一つ大きな病気を抱えていた しかし弟は今も薬を飲んでいます。 今は元気に学校に通っているし、 脳の病気です。 今飲んでいる薬は まさか難病で九 スイミングも 習

検査をしています。 今も何ヶ月 かに 安定しているので 回 日は病院に に行 って

> ら異常がなかった時はすごく安心しま 0 ホッとしていますが症状が発症したあ 時を忘れることができません。 だか

す。

と思います。 とても良い病院で良い先生でよかった らったのです。 気への特効薬がない状況で助けて た先生にはすごく感謝しています。 そんな弟の難病に向き合って下さっ 感謝でしかありません。 8 病

そしてこの作文を読んだ方へも希望を 事例が同じ病気の方を助けられる手段 程回復しています。そしてこの一つの 患っています。 与えられたらなと思います。 のならそれはすごく嬉しいことです。 と思います。 になるし、 事例が誰 私 の弟は命に関わるような難 希望を与えることができる かの命を救うことができる その時は大変でしたがこ しかしそうは思えない 病 を

0)

作 賞 品



小学生の部



清武 琳

粕屋町・小学5年

ます。

より、親せきの家みたいだなあ、と思い

入院って悪くない」

ぼくには、家の他にも「ただいま」と

呼んでいます。 ぼくの家族は、病院のことを「別荘」と 十二回目でした。入院は夏と冬なので、 手術を受けています。今年の夏の手術は、 入院している病院の病棟です。 言える場所があります。それは、いつも ぼくは、脊柱側弯症のため、毎年二回

ただいま」と言います。ぼくははずかし 半年ぶりに病棟に入ると、母は元気に

> たちは、 いので、 時から診てくれています。看護師さんも ることもあります。ぼくは、別荘という ていないくらい小さいころの思い出話をす から、母と看護師さんで、ぼくがおぼえ 何年も前から知っている人がいます。だ 顔がお兄ちゃんっぽくなったねぇ。 おかえり! 主治医の先生は、ぼくが生後二週間 と、みんなが声をかけてくれます。 心の中でいいます。 あら、また背が伸びた?」 看護師さん

は、 られて、がんばっています。 の人たちなど、たくさんの人たちに支え 保育士さんたち、お掃除の人たち、事務 してくれる先生たちや看護師さんたち、 みんな毎日同じご飯を食べます。治療を 同じ病院で病と闘っている子どもたち みんなぼくの仲間です。入院中は、

ぱいになります。 だんは静かな病棟が、明るい笑顔でいっ ぱいあります。痛いこと。こわいこと。 有名なスポーツ選手が来てくれると、ふ 中の子どもたちがみんな集まる七夕会。 レイルームでの工作や読み聞かせ。入院 いことも、うれしいこともあります。 不安なこと。さびしいこと。でも、楽し もちろん、入院中はつらいこともいっ 手術や入退院をくり返している、と言

> うと、 ちと同じです。入院しているからといって、 しすぎておこられるのは、他の子どもた 葉杖をついたりしていますが、ゲームを 車いすに乗ったり、装具をつけたり、松 たり、お母さんにおこられたりしています。 間たちも、ゲームをしたり、けんかをし いそうではありません。入院している仲 入院も当たり前のことなので、 ります。でも、ぼくには、自分の病気も 毎日暗い気持ちでいるわけではありませ かわいそう、と言われることもあ 全然かわ

気にしてくれます。 ている病院のスタッフの人たちは、ケガ を見つけて笑っています。ぼくが入院し ぼくたちは、つらい時でも、 や病気を治療するだけではなく、心も元 手術や入院は、とても大変です。でも、 楽しいこと

です。 くは、ぼくや仲間たちを見守ってくれて て、ファシリティドッグと一緒に働くこと ます。ぼくの将来の夢は、麻酔科医になっ くさんの人たちに励まされています。ぼ 頑張れます。ぼくは、 いる病院の皆さんに、心から感謝してい 心が元気になれば、 入院中、とてもた 治療やリハビリも

います。 どもや家族に聞かれたら、ぼくはこう言 「入院って、そんなに悪くないよ!」 もし、初めての入院で心配している子 K先生とわたし

うとちょっとおもしろいです。

と言われてとてもうれしかったです。

先

ながらそんな買いものをしているかと思 と思っていたので、先生がお店でなやみ んごしさんに買いものをおねがいしている 自分で買っているようです。わたしはか シールをくれます。なんとそれは先生が いいキャラクターのポケットティッシュや と教えてくれます。しんさつの後、

賞作

はしんさつのとき

「かばさんのお口して、あー。」

先生よりおもしろそうに見えます。 ています。白衣をきているびょういんの

先生



大野城市・小学2年 舎利倉 2 لح

きはきした声で

目とのどがまっ赤ですね。

かわ

上でおなかをさわります。やさしくては なかとせ中の音を聞いたあと、ベッドの みてくれます。ちょうしんきでむねとお と言います。そして、口の中と目と耳を

見つけてくれたのは、赤ちゃんのころか その先生は、K先生といいます。 らおせわになっている小に科の先生です。 びょう気になりました。そのびょう気を 染性単核症というちょっとめずらしい クやみどりのチェックのシャツをいつもき K先生は、 わたしは、 白衣をきていません。 ほいく園の年長のとき、伝 ピン

で小に科に行きました。でも、その二日後、 てくれました。けつえきけんさのけっか まってましたというふうに立ってまってい 先生とかんごしさんは時間外だったのに、 出てきたので、また小に科に行きました。 いになりました。四十どくらいのねつも はれてきて、ボクサーのし合のあとみた 目のはれがひかないどころか顔がぜんぶ おでこにでこぼこができて、目がはれたの 伝染性単核症になったとき、さいしょは、

> た。一か月たって、やっとかんぞうの数ち いく園を休んで家でしずかにすごしまし びっくりしました。早くなおるようにほ らべてくれました。おなかをぶつけたら じようにおなかをさわってかんぞうをし れからこのびょう気がなおるまで何回も た。けんさで伝染性単核症だとわかった がよくなったとき、 いのちにかかわるかもしれないと聞いて 小に科に行きました。先生はいつもと同 たのかな、やさしいなと思いました。そ れました。できるだけ早く教えたいと思っ とき、先生はお母さんに電話で教えてく しいけんさをしてもらうことになりまし かんぞうの数ちがわるかったので、 を聞きに、つぎの日も小に科に行きました。 「もう大じょうぶだよ、がんばったね。」 くわ

うをがんばっています。 なって、たくさんの人にあん心してくら りたいです。でも、すこしちがいます。 しは、K先生のようなおいしゃさんにな してほしいです。だから、 お年よりのこしをなおすおいしゃさんに 休んでいません。とても元気です。わた 生もほっとしてにこにこしていました。 わたしは、小学生になってまだ一日も 今おべんきょ

品 賞 作

小学生の部



福岡市・小学2年 真理子 畠山

わたしの小ゆびと きせきの先生」

のです。 うらいの目ひょうとなる先生にで会った しくてび人な女の先生。わたしは、しょ やけどのちりょうをしてくれた、やさ

ているソースがわたしの足にかかりまし ステーキのてっぱんから、ジュージュー言っ 夏休みのかぞくりょ行のさい後のよる。

> こんどはズキズキしてきました。そのう ゆびがふっとびそう。 足がしびれた時のようです。 からなくなりました。まるで正ざをして、 ちかんかくはあるけれどつめたさしかわ の入ったビニールぶくろでひやしました。 の小ゆびが赤くはれていました。こおり スがついています。くつ下もぬぐと、右足 ました。くつをぬいでみると、くつ下にソー 「あつい!」ゆびの先がばくはつする。 ゆびがじんじんして、なみだがこぼ

中にかおをうずめました。 されるのははずかしくて、お母さんのせ てくれました。もう二年生なのにおんぶ くつがはけないので、お母さんがおんぶし びょういんに行くことになりましたが、

たあとがつきました。 なみだとあせで、お母さんのふくにぬれ たるたび、いたくてとび上がりました。 がドキドキしました。右足がどこかにあ ゆびがなくなったらどうしよう。むね

るそうな人がベンチにたくさんすわってい びょういんにつきました。ぐあいがわ

うにげかの先生になって、たくさんの人

ちりょうしてくれた先生のような、しょ

をたすけたい。

こぼれました。その時、わたしの名前が い場しょで入いんになったらどうしよう。) (せっかくのりょこうだったのに。 知らな またふあんがおそってきて、なみだが

> みを一つむすびにしたび人な女の先生が わたしと同じようにメガネをかけて、 よばれました。しんさつしつに入ると、 いました。むねにアンパンマンのバッチを

つけて、ニコニコわらっています。 「たいへんだったね。いたい?」

ちがふきとんでいきました。 やさしく聞かれて、しんぱいする気も

「水ぶくれがやぶけちゃったね。 しょうどくして、くすりをぬってくれ

さめると、いたみがきえてかわりに新し めをのんでねました。つぎのあさに目が になってきました。そのよるは、いたみど きな先生に会えたことで、明るい気もち うです。プールには入りたいけど教えて ました。大すきなスイミングに行っても い目ひょうが生まれていました。 もらったとおりにしようと思いました。 した。ばいきんが入るとたいへんなのだそ よいか聞くと、なおってからと言われま 足はまだズキズキいたむけれど、すて

なってみせる。 ばしてくれたⅠ先生みたいな先生に。 なりたいな。なれるかな。でもきっと ふあんな気もちをふきと

選考委員

福岡県教育委員会 薄井 純一

西日本新聞社社会部編集委員 井上 真由美

筑紫女学園大学文学部日本語・ 日本文学科教授 中村 萬里

福岡県医師会広報委員会委員長 林 洋一

福岡県医師会常任理事 原 祐一

福岡県医師会理事 佐藤 薫

福岡県医師会理事 青柳 明彦



募集要項

- ●医療従事者と患者さん、その家族との「信頼関係」という医療の原点にスポットをあて病気になった時に感じたことや介護にまつわる経験、医療従事者とのふれあいなど、医療・介護に関する体験記を募集します。
- ●400字詰め原稿用紙3枚~5枚以内(1,200~2,000字)鉛筆(B、2B)/ボールペン/万年筆/パソコン/ワープロのうち、いずれかを用いて、 濃くはっきり書く。

※パソコン・ワープロの場合、1ページ400字(20字×20行)。

- ●表紙をつけて、部門、題名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、性別、所属、 電話番号、FAX番号を明記して下さい。
- ●福岡県内の学校に在籍する児童生徒、および一般県民 ※医師を除く
- ●自作の未発表作品に限り、盗作、二重投稿は固くお断りします。
 ※応募作品について盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- ●応募作品は返却いたしません。
- ●入選作品の著作権、出版権は主催者に帰属します。 ※そのため主催者、後援者がインターネット上で開いているページや、雑誌、テレビ、ラジオ、 書籍、教材などに利用されることがあります。
- ●【一般の部】最優秀賞 1名 優秀賞 若干名
 - 【中高生の部】 最優秀賞 1名 優秀賞 若干名
 - 【小学生の部】 最優秀賞 1名 優秀賞 若干名

受賞者には賞状と副賞を授与いたします。

【問い合わせ】福岡県医師会総務課 作文コンクール係(TEL 092-431-4564)

主催:公益社団法人福岡県医師会

共催:福岡県、福岡県教育委員会、西日本新聞社

後援:九州厚生局、福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、大牟田市、行橋市、福岡市教育委員会、 北九州市教育委員会、読売新聞社、産経新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社(順不同)



令和2年2月発行 公益社団法人福岡県医師会

〒812-8551 福岡県福岡市博多区博多駅南2-9-30 電話:092-431-4564 FAX:092-411-6858

